



京都大学がビジネスパーソン向けに本気で作ったブレない軸を修得するための教養プログラム

スキルではなく、精神を磨く。
その人材育成を京都の地で。

<お問合せ・お申込先>

ご質問などございましたらお気軽にお問い合わせください。

京都大学 ELP 事務局 〒606-8303 京都市左京区吉田橋町1 橋会館内

TEL:075-753-5158 / FAX:075-753-5154

HPは「京大 ELP」で検索 info-elp@gsais.kyoto-u.ac.jp

次世代に向けた本質理解と世界観構築
京都大学エグゼクティブ・リーダーシップ・プログラム

京大ELPを選ぶ5つの理由



時代の潮流に
おいても
普遍の本質を追求

世界最先端の知識を学ぶだけでなく、普遍的な問いを考える講義を行います。最先端はいつかは最先端でなくなります。先が見えない時代だからこそ、スキルというよりむしろ時代や場所を越えて存在する根源的な命題「本質」を学び、追求します。



探求に人生を
捧げてきた
本物の学者に触れる

講師には、京都大学の教授陣の中でも卓越した業績を有し、かつ社会人との対話に情熱を持つ選りすぐりの教員が講義を行います。本物の学者との真剣な対話を通じて知性を磨き、新たな価値を創り出すに足るリーダーシップを身につけます。



本家本元から
学ぶ芸術の原体験と
その哲学

「芸」は自ら体験してからこそ。ELPでは、茶道や華道、陶芸、書道の家元から講義を受け、実際に体験をします。それぞれの芸術の持つ哲学を学び体験することで、その芸術の持つ本来の意味、本質を学び取ることができます。



慌ただしい
都市からの脱出
京都でこそ
学ぶ意味

京都大学構内にある橘会館（旧帝国大学総長官舎、1911年竣工）で講義を行います。100年間という現代の礎となった先人たちの息吹を感じられるこの学館は、学問の本質を掴み取るにふさわしい場といえます。日常から離れた異空間で思考リセットの体験を。



対話を根幹とした
ビジネスにとどまら
ない、一生モノの
人間関係を

講義後には十分な対話の時間を設け、本気の意見交換を。プログラム修了後は、同窓会組織である「京大ELP倶楽部」の会員として、現役生、修了生、教員との繋がりが続きます。ビジネスだけではなく、学びを共にした仲間との生涯の関係を構築することができます。

八思

人文・哲学



人類進化論
サル化する人間社会

比較思想
仏教と西洋における智慧の探究

学問の意味と意義
各専門知識を脳に入れたら何なのか？

日本人の死生観の行方
未来に役立つ価値観は守るべき

京の知
京都学派の哲学を中心に

西洋史学、近世・近代のヨーロッパ史
ポーランドからみる歴史の地下水脈

国際政治の中の日本外交
国際政治の現状と世界の中での日本を考える

正義論
正義のフロンティアを探る

統治機構改革の展望
現代社会における憲法の意味と役割を考える



法律・政治

インターネットとセキュリティとAI
インターネットは自由。自ら作るメディア。

人工知能
知のエンジニアリング

人工知能が人類の脅威となるか
人工知能をもう少し深く考えてみよう



情報・環境

すうがくの論理と応用
数学の面白さを追体験します

地球水資源評価
水惑星地球の水資源評価

オープンエデュケーション
21世紀の『知の革命』と教育・人材育成の未来

理工



生存学
未来社会はどうあるべきか

サステナビリティ学
持続可能なエネルギーシステムとは何か

飽和の時代から循環型未来地域社会
へのシナリオ設計
地域資源ベースの生産活動を考える

太陽プラズマ現象と宇宙天気予報
太陽面爆発（フレア）の地球と社会への影響

未来創成学への挑戦
想定外事態、人的失敗を前提とする学問創成

分子技術
化学から育つ新ディシプリン

有機合成化学
研究の進め方・醍醐味

エネルギー利用における原子力のあり方
原子力の認識論、再構築への試み

宇宙研究の最前線
フロンティアからフィールドへ

アセアン地区におけるエネルギーの状況
再生可能エネルギーの導入状況について理解する

細胞の声を聞く
たった一つの卵から形ができてくる不思議

医薬・生命



臨床医学
高齢化社会と慢性疾患

「グリーンケミストリー」の
概念と実践
持続可能な「モノづくり」を指向した化学
製品の分子設計と化学合成について

バイオマス科学、ナノファイバー工学
生き物の力を借りて高性能材料を作る戦略

薬の過去・現在・未来
人々が薬に求めること。薬が起こしてしまうこと。

農芸化学
(食と発酵を中心に)
身近な微生物現象の化学的解明
がもたらしたもの

熱帯地域における農業環境の
維持と食料生産
在来農法の現界と変容—東南アジアの焼畑

現代のころ：その問題と可能性
現代のころを歴史的背景から問う

グローバルな人類の脅威としての感染症
国境を超える感染症（伝染病）の脅威の背景と問題点

人は自然と共存できるか
「木の文化の国」の木づかいと森づくり

医療・健康系データベースを用いた新しい医学研究
社会における医療の意義と健康の価値

がん研究とがん治療の最前線
がんはどうしてできるのか？防ぐ方法は？治療法は？

難治性疾患に対する新規治療法の開発
未来の難治性疾患治療に向けた挑戦

経済・経営



資源・エネルギーの問題
資源・エネルギーの本質

イノベーションの本質
イノベーション創生論

野生動物保全論
多様な生物の「世界」から学ぶ楽しさ

行動経済学—経済学のパラダイムシフト
行動経済学による健康・医療行動変容分析

異文化理解



現代イスラーム世界と国際社会
イスラーム政治・経済の今日的相貌

<第三の生命>論および日韓関係
新しい生命論、そして新しい東アジア

グローバルコミュニケーション
グローバルコミュニケーションと異文化理解

芸術

京都の名園と環境
景観生態学から見た生物親和の理論と応用

禅の実習
禅修行の一端に触れる



千玄室
裏千家 大宗匠



樂吉左衛門
樂家十五代当主



池坊専好
華道池坊次期家元



三枝成彰
作曲家/
東京音楽大学教授



杭迫柏樹
公益社団法人日展会員
北斗会主宰



土佐尚子
京都大学情報環境機構教授

一日の流れ

9:50 集合



10:00 講義 I



13:10 ランチ交流会



14:10 講義 II



17:20 リフレクション



年間スケジュール

5月

前期講義開始（毎週土曜日）
オリエンテーション
前期開講式・スタート合宿

6月

講義期間（12週・23講義）

7月

講義修了
振り返りワークショップ
前期修了式・修了パーティー

10月

後期講義開始（毎週土曜日）
オリエンテーション
後期開講式・スタート合宿

11月

講義期間（12週・23講義）

12月

講義修了
振り返りワークショップ
後期修了式・修了パーティー

- プログラム修了者には「京都大学ELP修了証」が発行されます。
- 京都大学の図書館・総合博物館を利用できます。
- プログラム会場となる京都大学 橘会館を利用できます。
- 京都大学 東京オフィスを利用できます。

プログラム修了後も繋がる関係

同窓会組織「京都大学ELP倶楽部」のメンバーに加入いただけます。講師や新旧の仲間たちと交流を深めたり、継続した学びの機会を得ることができます。

例えば、年に数回の特別講義、香道体験など様々な企画を独自に実施しています。

プログラム修了後は、モデレーター（※）として講義に参加して、講師や現役受講生との交流を深めることができます。

※モデレーターは、講義の中で、講師と受講生間、受講生同士の議論が盛り上がるよう講義進行のサポートを行います。

企業 — 大学の新しい連携

講師陣とは、講義時間以外でも密なコミュニケーションを取れる環境を用意し、より深い関係を築くことができます。

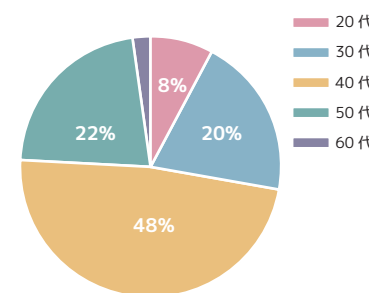
通常の産学連携は、技術ありきで締結することが多いですが、本プログラムではまず出会いが先にあり、「この先生（企業）となら、何かおもしろいことが生まれそう！」という人間性ありきのコラボレーションが多く生まれています。

共同研究・共同プロジェクトの実施はもちろん、講演依頼や、アドバイス契約など、年間20以上のコラボレーションが講師・参加者同士で行われています。

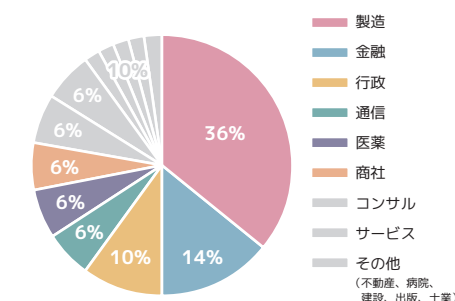
受講生プロフィール

2017年12月時点

年代



業種



役職

